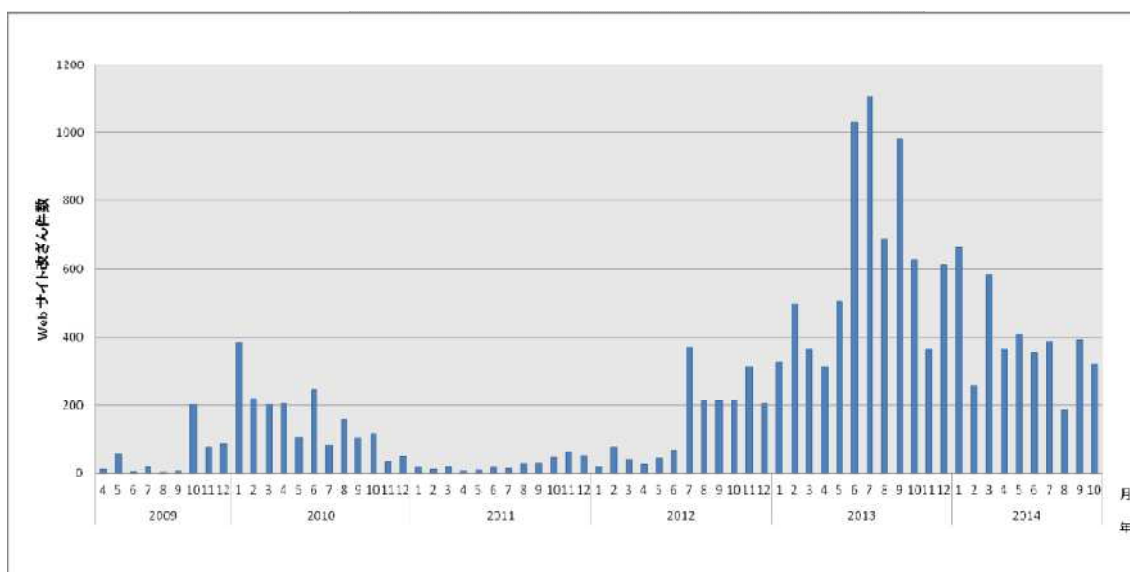


サイト管理者の皆様へ～「ウェブ改ざんの増加と傾向」



近年、ウェブ改ざんの被害が拡大しています。2013年中、JPCERT/CCに届けられたウェブ改ざんの数は、7,409件でしたが、本年も、毎月、数百を超えるウェブ改ざんを確認しており、2010年に話題になった、いわゆる「ガンブラー」によるウェブ改ざんの被害を上回る状況が継続しています。

現在、ウェブ改ざんの被害は、有名企業や新聞社のサイト、個人サイト、またはブログにまで広がっています。現在、確認されている多くのウェブ改ざんでは、コンテンツに不正なスクリプト等を埋め込み、サイトの閲覧者を悪意のあるサイトに誘導して様々なウイルスに感染させようとしています。これらのウイルスは、ネットバンキングのアカウント情報や個人情報を盗むなど、攻撃者の大規模なプラットフォームになっていると考えられます。

改ざんの手口には、古いウェブサイト管理ソフトの脆弱性を悪用するものや、サイト管理者のアカウント情報を盗用するものなど様々な手口が使われています。これらのウェブ改ざんでは、外見上、正常なサイトコンテンツと変わらないため、閲覧したユーザもウェブサイト管理者自身も改ざんの認知が難しい状況になっています。

ウェブサイトの管理者は、ウェブサイト管理ソフトのバージョンを最新に保ち、必要なウイルス対策とサイトの点検を行い、万一、サイトが改ざんされた場合でも、

証拠保全とウェブサイトの復旧

警察への通報、捜査活動への協力

改ざん事実の告知と閲覧者が被る可能性のある脅威への注意喚起

原因の究明と結果の公表

等、迅速に対応できるよう、平素から手順などの確認をしておくことを強く推奨します。